

報告事項才

令和4年度鳥取県特別支援学校技能検定の実施結果について

令和4年度鳥取県特別支援学校技能検定の実施結果について、別紙のとおり報告します。

令和4年11月16日

鳥取県教育委員会教育長 足羽英樹

# 令和4年度鳥取県特別支援学校技能検定の実施結果について

特別支援教育課  
令和4年11月16日

1 実施期日 令和4年10月12日(水)・13日(木) 午前9時50分から午後3時まで

2 会場 県立琴の浦高等特別支援学校(東伯郡琴浦町赤碕1957-1)

3 参加者 県内特別支援学校高等部生徒58名  
(白兔養護19名、倉吉養護8名、  
米子養護15名、琴の浦16名)



4 実施内容 喫茶サービス部門・清掃部門

## 5 審査委員長総評

(1) 喫茶サービス部門(林審査委員長)

「かしこまりました。」「少々お待ちください。」等の丁寧な言葉が使えている。皆さんの一生懸命な接客がお客様に伝わる。今後も、どうしたらお客様に満足してもらえるかをいつも頭に入れながら日々練習し、自信につなげてほしい。

(2) 清掃部門(照下審査委員長)

皆さんのレベルが高くて驚いた。意識も技術も上がっている。清掃は、どの進路先、就職先でも必ず付いて回るもの。この検定を通して学んだ基本的な清掃技術を忘れず、将来の仕事や生活に役立ててほしい。

## 6 生徒の感想

- ・お客様の立場に立ってどういう接客をしたら喜んでもらえたり、すごいなと思われたりする姿になれるのかを意識して接客の練習をしてきました。練習では、なかなか接客が上手くいかなくて、何度も練習しました。繰り返し接客することで、自分のイメージがしっかりと持てるようになり、当日ではいい結果を残せたので、努力をして取り組んで良かったなと思いました。(喫茶サービス部門)
- ・練習の時に、机の下をダスターの柄で八の字で拭くのが難しかったことと、座ってモップをかける時に柄が検定枠の外に出ないようにすることが難しかったです。本番では、順調にあせらずにゆっくりと慎重にマスター検定ができて良かったです。本番を終えた後に、自分で頑張ったと思って安心してほっとしました。2年間頑張ってきて良かったです。(清掃部門・マスター検定(床及び机上清掃))

## 7 認定者

( )内はR3の人数

	清掃部門				喫茶サービス部門
	(高 ← 難易度 → 低)				
	マスター検定		チャレンジ検定		
	じゅうたん床清掃及びガラス・窓枠清掃	床及び机上清掃	じゅうたん床清掃	床清掃	
受検者数	7(1)	11(9)	0(1)	14(18)	26(23)
1級	1(1)	2(7)	0(1)	0(4)	3(1)
2級	2(0)	7(2)	0(0)	7(11)	3(7)
3級	3(0)	2(0)	0(0)	7(2)	7(4)
4級	1(0)	0(0)	0(0)	0(1)	5(8)
5級	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	3(3)
6級	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	3(0)
7級	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
8級	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
9級	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
10級	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

## 8 その他

清掃部門では難易度の高いマスター検定の受検者が増え、練習を積み重ねていることが伺えた。喫茶部門では基本的なスキルは習得しており、今後はよりお客様の立場に立ったサービス提供が求められる。